

小・中学校の適正規模に基づく学校再編に関する地域懇談会 記録

奥州市立小中学校適正規模等検討委員会

地区名	田 原 地 区		
日 時	平成 29 年 11 月 9 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 00	会 場	田原地区センター
出席者	事 務 局	教育長、教育部長、学校教育課長、学校教育課長補佐	
	検討委員	副委員長 他 1 人	
	地域住民	3 6 人	
◆主な質疑内容			
(質問)		(回答)	
○前沢小が統合するに当たってどれくらいかかっているのか。		○10年以上かかっている。前沢の統合案が様々であった。胆沢中の統合についても10年くらいかかっている。	
○(統合を)今すぐにでも進めてほしい。小規模すぎる。2、3年のところで進めてほしいがどうか。		○地域の方々のご意見を頂ければ検討委員会とは別の流れで動いていきたいと思う。	
○地域の声を聞くのであれば、全市に聞いてほしい。行政案を出し、検討する形をとってほしい。		○H31年度末には、奥州市小中学校再編基本計画を策定し、全地区にも諮る。	
○大田代の児童が田原小に通学するとすれば、スクールバスは出るのか。		○可能である。スクールバスの他に通学補助がある。	
◆主な意見・要望の内容			
○複式学級の先生は負担が大きいように思う。そのしわ寄せが子供にもきていると感じることもある。複式を解消してほしい。			
○生徒一人の学年はかわいそうである。小さい学校だとやりたいスポーツもできない。(学区という)ルールはもつともだが、子どものことを考えると親は苦しい。家で子育てをしたいが、転居をしなければいけない。地元で子育てをしたいと思っても地域から出ていく人も出てしまう。			
○前沢は、校舎の建替えが必要だったことも統合の理由だったのではないか。奥州市の小中学校の再編は必要である。都市整備と一緒に進めてほしい。			
○小規模の小学校でも一人一人が頑張っている。先生方が一丸となって指導をし、子供たちの姿は勇気を与えてくれる。行政からすれば統廃合は必要かもしれないが、小規模校のよさも考慮してほしい。			